

出前授業「岐阜県データ活用講座」の新たな試み

～小学生向け副読本の作成から

大学生インターンシップの実施まで～

岐阜県環境生活部統計課

企画分析係 課長補佐 中西善裕



連絡先

〒 500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1

Tel: 058-272-1111 (内線2083)

Fax: 058-271-5720

E-mail: c11111@pref.gifu.lg.jp

岐阜県 統計課

検索



H23年度、新たな試みとして「データ活用講座」をスタート H30年2月までに延べ96校、約6,200人を対象に実施

<これまでの実績>

- ・平成23年度 9校 (小学校 1 中学校 5 高校1 大学2) 延べ約 860名対象
- ・平成24年度12校 (小学校 2 中学校 9 大学1) 延べ約 960名対象
- ・平成25年度17校 (小学校 4 中学校11 大学2) 延べ約1,500名対象
- ・平成26年度21校 (小学校13 中学校 5 大学3) 延べ約1,480名対象
- ・平成27年度10校 (小学校 4 中学校 3 高校1 大学2) 延べ約 370名対象
- ・平成28年度13校 (小学校 9 中学校 3 高校1) 延べ約 550名対象
- ・平成29年度14校 (小学校 8 中学校 4 高校2) 延べ約 450名対象 (H30.2.28現在)

県統計課が統計教育に取り組む意義

統計の重要性

- ・証拠に基づく政策
- ・人口統計を基礎とした「人口ビジョン」 など

調査環境の悪化

- ・個人情報保護意識の高まり
- ・居住形態の多様化 など

市町村職員や統計調査員の声

「統計調査の結果は子どもでも分かるように…」
「税と同じように子どもの頃から…」

統計の普及啓発

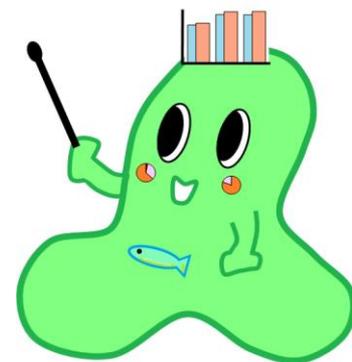
- 総務省：統計指導者講習会、「なるほど統計学園」「データサイエンススクール」 など
- 都道府県：「データ活用講座」、子ども向けホームページの開設
教員向け講習会の開催 など

「データ活用講座」の基本 「分かりやすく楽しく学ぶ」

- ① 一方的な解説とせず参加できる工夫を凝らす
 - ・都道府県ランキング、県民の好物などの統計クイズ
 - ・人口や産業別従業者のデータをグラフに表し、傾向を読み取る
- ② 身近な統計を取り上げる
 - ・森林率全国 2 位、水力エネルギー量全国 1 位、人口、岐阜のモノづくり、農林畜産物 など

岐阜県 統計課 マスコットキャラクター

テルミー



今年度の「データ活用講座」の主な取組

①統計学習副読本の作成（小学校）[新規]

小学校高学年向けの「統計学習に関する副読本」を作成
県内の全ての小学4年生に配布

②「熱中症にご用心！」（中学校）

多様なデータから傾向を見いたす力を養う事を意図
県内の2つの中学校で実践

③「これであなたもグラフの達人」（高等学校）

小中学校と同様に県内高等学校にも案内文書を配布
商業高校から調査研究に必要な統計データの活用についての講義依頼

④自治体協働型インターンシップの実施（大学）

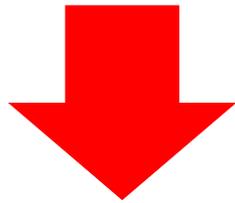
岐阜大学と連携して、統計をテーマにした講座を開設[新規]
大学コンソーシアムのシステム(単位互換性)を活用し、県内の全大学生の受講が可能
統計調査の理解者・協力者を育成すると共に、若手統計調査員の確保を図る

統計学習副読本の作成（小学校）

現場の声

「算数・社会科で使えるような身近なデータを集めた教材はないだろうか」

「ふるさと学習で活用できるような岐阜県のデータ集はないだろうか」



統計学習の副読本の作成

- ・フルカラー、ワイド版
- ・県内の小学4年生に提供
- ・PDF版をHPに掲載



3大特徴①

「最新性」

- ・最新のデータ
- ・学習指導要領の趣旨を盛り込む

聞いて来て
グラフで解決



アンケート調査結果を集計・分析しよう

集計をしたら、課題解決に向けて分析をしよう。大きい順に並べたり、割合を求めたりすると、結果がはっきり見えてくる。さらに男女別、学年別などで区分して集計すると、もっと詳しい分析ができる。

STEP 5

アンケート調査結果を集計しよう

- 集計は、「正」の字などで数えながら、正確に行う。
- 集計結果の合計が、アンケートを答えた人数と合うようにする。
- その他の欄に記入された内容も集計結果に書きこもう。

「その他」や「未回答※」も大切なデータだから、集計に入れるのがポイント!



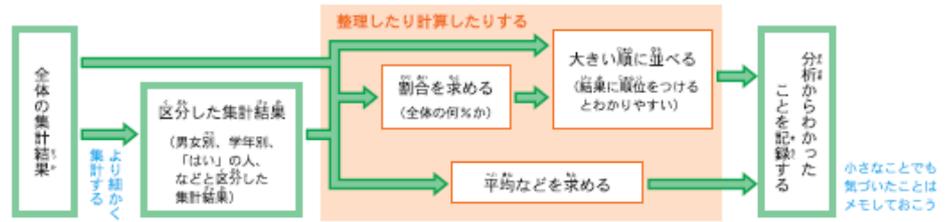
※「未回答」とは、答えてくれなかった人（または答えなかった人）の数のこと

STEP 6

集計結果を分析しよう

- はじめにやってみるとよい分析は、結果を大きい順に並べること。
- 算数の授業で割合や平均を習ったら、その計算にもチャレンジしよう。
- 男女別、学年別、「はい」と答えた人だけ、などと集団を区分して集計すると、さらに詳しい分析ができる。

分析の方法



集計と分析の例

アンケート集計・分析結果

①今年の「みこし祭」に参加したか

回答	(人)
参加した	12
見に行った	25
行かなかった	55
合計	92

②-1参加したのは何回目か

回答	(人)	割合
1回目	2	
2回目	4	
3回目	5	1.9%
4回目	0	
5回目	1	
合計	12	

分析メモ
平均が2.5回ということは、2～3回目のリピーターが多い!

③-3どうして行かなかったのか

回答	(人)	割合
知らなかった	32	1
他の予定があった	7	3
興味が無い	11	2
その他(参加方法も知らないなど)	3	4
未回答	2	5
合計	55	

②-2来年はみこしまつぎたいか

回答	(人)	割合
はい	17	68%
いいえ	8	32%
合計	25	100%

分析メモ
この17人だけを区分して集計してみると、このうちの15人が、質問③で「飛び入り参加できるようにする」と答えている。見ていると参加したくなるんだね。

3大特徴②

「正確性」

- ・公的統計データ
- ・市町村合併に対応

あなたの市町村に
しるしをつけてみよう。



区分(単位)

区分(単位)	人口					26ページの「黄書1」に使うデータだよ。					26ページの「黄書3」に使うデータだよ。				
	人口のつりまわり					年齢3区分人口のつりまわり									
	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成7年(1995年)		平成27年(2015年)							
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	15歳未満	15~64歳	65歳以上	15歳未満	15~64歳	65歳以上				
県計	2,100,315	2,107,700	2,107,226	2,080,773	2,031,903	347,733	1,430,294	322,209	266,398	1,185,431	567,571				
岐阜地域	792,274	794,691	802,218	807,571	799,766	126,373	559,807	106,047	106,835	474,931	209,599				
岐阜市	418,574	415,088	413,367	413,136	406,735	63,380	295,105	60,042	60,957	238,415	110,490				
羽島市	63,962	64,713	66,730	67,197	67,337	10,931	45,205	7,826	9,443	40,502	16,939				
各務原市	141,055	141,765	144,174	145,504	144,690	23,676	101,153	16,226	20,266	85,901	38,131				
山根市	31,534	30,951	30,316	29,629	27,114	5,360	20,963	5,211	3,055	15,503	8,544				
瑞穂市	43,892	45,571	50,009	51,950	54,354	7,695	31,836	4,361	8,755	34,554	10,557				
本巣市	33,297	33,900	34,603	35,047	33,995	5,548	22,530	5,219	4,849	19,666	9,442				
岐阜町	21,251	22,137	22,776	23,804	24,622	3,547	15,657	2,047	3,895	15,425	6,311				
笠松町	21,682	22,319	22,696	22,809	22,750	2,936	15,377	3,369	3,118	13,423	6,157				
北方町	17,027	17,250	17,547	18,395	18,169	3,300	11,981	1,746	2,697	11,443	4,028				
西濃地域	393,279	393,645	391,637	385,021	372,399	66,010	267,599	59,660	49,438	219,541	102,467				
大垣市	161,679	161,827	162,070	161,160	159,879	26,315	111,887	23,475	21,987	95,945	41,498				
海津市	41,694	41,204	39,453	37,941	36,206	7,552	27,759	6,383	4,062	20,889	10,246				
養老町	33,694	33,256	32,550	31,332	29,029	6,078	22,295	5,321	3,622	16,999	8,381				
垂井町	28,736	28,935	28,895	28,505	27,556	4,731	19,622	4,383	3,742	15,973	7,802				
関ヶ原町	9,405	9,110	8,618	8,096	7,419	1,416	6,283	1,706	749	3,988	2,582				
神戸町	20,687	20,750	20,830	20,065	19,282	3,311	14,726	2,650	2,489	11,156	5,533				
輪之内町	8,669	9,141	9,419	10,028	9,973	1,539	5,746	1,384	1,511	6,132	2,299				
安八町	15,115	15,078	15,263	15,271	14,752	2,522	10,700	1,899	2,190	8,684	3,851				
揖斐川町	28,368	27,453	26,192	23,784	21,503	4,504	18,022	5,842	2,390	11,545	7,567				
大野町	22,079	23,071	23,788	23,859	23,453	3,993	14,991	3,095	3,452	13,933	6,043				
池田町	23,153	23,820	24,559	24,980	24,347	4,049	15,568	3,536	3,564	14,297	6,477				
中濃地域	381,833	388,108	388,877	382,570	373,712	66,540	252,127	63,166	49,697	217,658	104,964				
関市	90,147	92,061	92,597	91,418	89,153	15,673	60,555	13,919	12,044	52,612	24,347				
美濃市	25,969	24,662	23,390	22,629	20,760	4,251	16,440	5,278	2,350	11,789	6,508				
美濃加茂市	46,065	50,063	52,133	54,729	55,384	8,113	31,095	6,857	8,511	33,964	12,349				
可児市	88,372	93,463	97,696	97,436	96,695	15,903	63,046	9,424	13,756	69,429	25,000				
郡上市	50,809	49,377	47,495	44,491	42,090	8,795	30,334	11,680	5,218	22,222	14,604				
坂祝町	8,740	8,853	8,552	8,361	8,202	1,447	6,228	1,065	1,041	5,107	2,020				
富加町	5,853	5,835	5,710	5,516	5,564	1,082	3,776	995	739	3,198	1,626				
川辺町	10,950	11,013	10,930	10,593	10,197	1,909	7,051	1,390	1,318	5,814	3,043				
七宗町	5,748	5,234	4,870	4,484	3,876	904	3,401	1,443	341	1,914	1,620				
八百津町	14,323	13,632	12,935	12,045	11,027	2,261	8,693	3,369	1,146	5,839	4,036				
白川町	11,681	11,282	10,545	9,530	8,392	1,993	6,580	3,108	780	4,006	3,606				
東白川村	3,196	2,980	2,854	2,514	2,261	525	1,816	855	244	1,064	953				
御嵩町	19,980	19,653	19,272	18,824	18,111	3,684	13,113	3,183	2,210	10,700	5,152				
東濃地域	362,080	361,559	358,884	348,085	336,954	61,588	241,032	59,455	42,130	193,136	100,883				
多治見市	113,079	115,740	114,876	112,595	110,441	20,486	78,791	13,777	13,655	65,654	30,728				
中津川市	83,260	82,964	84,080	80,910	78,883	14,103	65,101	16,056	10,320	43,890	24,383				
瑞浪市	42,003	42,298	42,065	40,387	38,730	6,868	27,960	7,175	4,673	22,541	11,404				
恵那市	58,107	57,274	55,761	53,718	51,073	9,579	36,655	11,373	6,364	28,033	16,620				
土岐市	65,631	63,283	62,102	60,475	57,827	10,532	44,525	10,574	7,118	33,018	17,548				
飛騨地域	170,849	169,697	165,610	157,526	149,072	27,242	109,729	33,873	18,899	80,165	49,858				
高山市	96,680	97,023	96,231	92,747	89,182	15,804	63,388	17,488	11,972	49,548	27,550				
飛騨市	31,247	30,421	29,902	26,732	24,696	4,735	19,485	7,027	2,866	12,589	9,237				
下呂市	41,029	40,102	38,494	36,314	33,585	6,390	25,681	8,953	3,830	17,160	12,560				
白川村	1,893	2,151	1,983	1,733	1,609	313	1,176	406	230	868	511				
出典	総務省「国勢調査」毎年10月1日現在					総務省「国勢調査」毎年10月1日現在 (注)年齢「不明」の人数を除くための区分の合計を左記の人口と一致しない。									

※高野黒山口村の値を含まない。

3大特徴③

「教科書準拠」

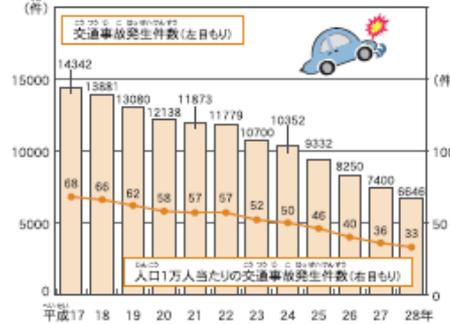
・第4章→社会の内容

人口、土地、火災、事故、
事件、ごみ など

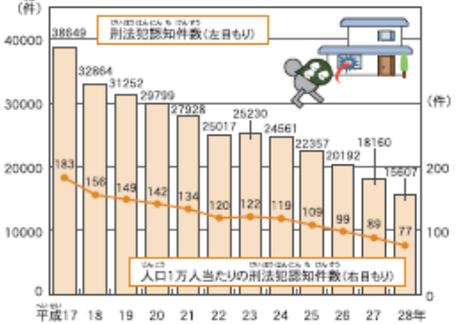
・第2章→算数の内容

棒グラフ、折れ線グラフ、
帯グラフ、円グラフ

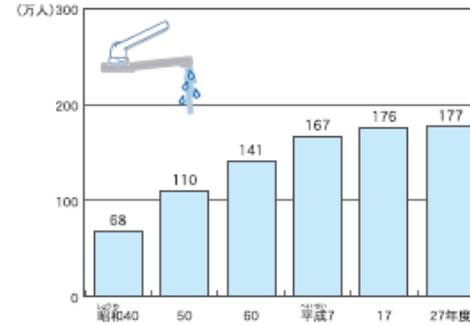
5 交通事故発生件数 (岐阜県)



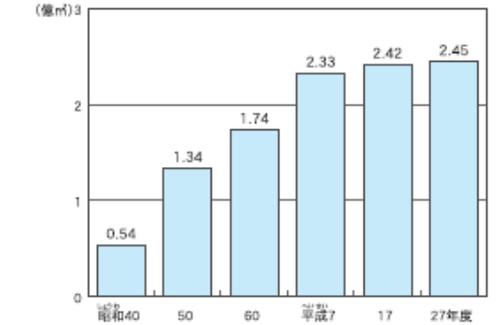
6 刑法犯認知件数 (岐阜県)



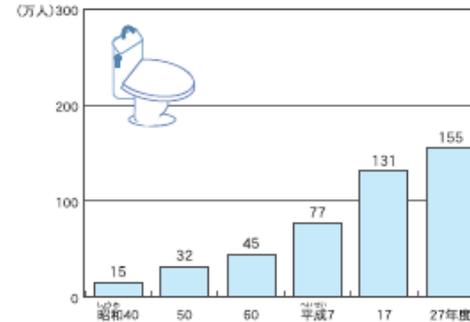
7 上下道の給水人口 (岐阜県: 10年ごと)



8 上下道の給水量 (岐阜県: 10年ごと)



9 下水道の普及人口 (岐阜県: 10年ごと)



10 ごみの量のうつり変わり (岐阜県) は、22ページを見よう

50年間で、生活がすいぶん変化していることがわかるね。

昭和40年に20歳だった人は、今70歳くらいだよ。グラフを参考に、当時の生活の様子についてお話を聞いてみよう。

〔出典〕グラフ1～4:岐阜県防犯「岐阜県防犯防犯年報平成27年版」 グラフ5:岐阜県警本部「ぎふ交通統計」 グラフ6:岐阜県警本部「犯罪統計」 グラフ7:岐阜県警本部「犯罪統計」 グラフ8:岐阜県農林水産部「岐阜県における水産の状況」
 グラフ9:岐阜県統計課「岐阜県統計要覧」 人口:総務省「国勢調査」、「人口推計」(グラフ1、3、5、6の「人口1万人当たりの件数」は、各件数を、万人単位の人口で除したものであり、各統計を所管する機関が公表している人口当たりの件数とは一致しない。)

「熱中症にご用心！」（中学校）

<ねらい>

熱中症のデータをもとに、都道府県別の特徴を分析することを通して、必要なデータを自分で決めて分析し、自分なりの結論を導き出すことができる。

<主な流れ>

①熱中症の都道府県のランキングを予想する。

- ・出典等、データについて確認する。
- ・予想した都道府県と理由について発表する。
- ・実際の結果を提示し、熱中症に関連があると思われる統計データについて話し合う。

②データをもとに、熱中症のリスクについて考える。

※御嵩町立上之郷中学校→エクセルで分析

※岐阜市立陽南中学校→データカードで分析



某テレビ番組でのクイズ

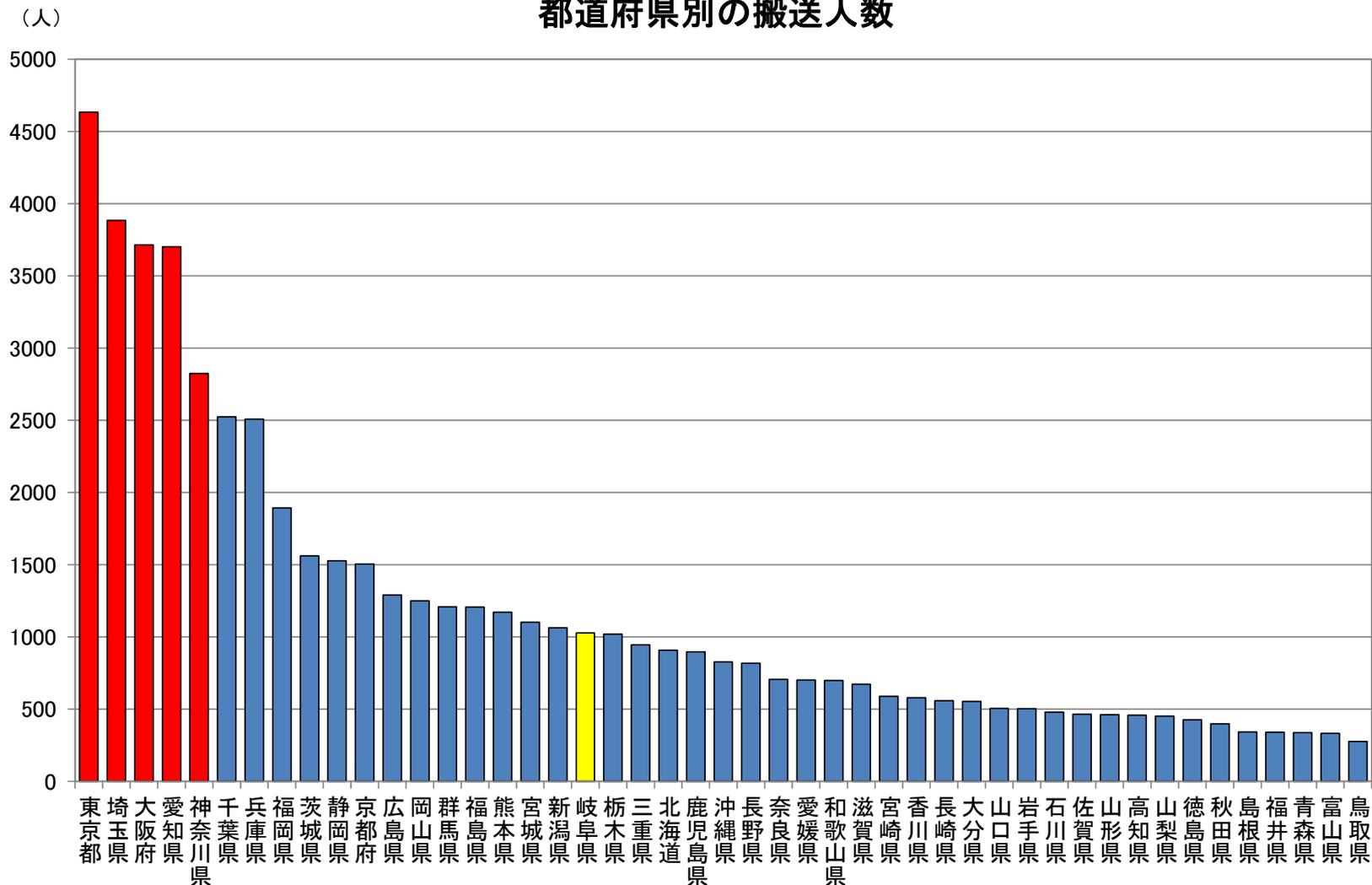
2015年5月～9月に熱中症によって救急搬送された人数を都道府県別にランキングにした場合の2位の都道府県をあてなさい。

1位	東京都	4634人
2位		3884人
3位	大阪府	3714人
4位	愛知県	3702人
5位	神奈川県	2824人



熱中症による搬送人数

都道府県別の搬送人数



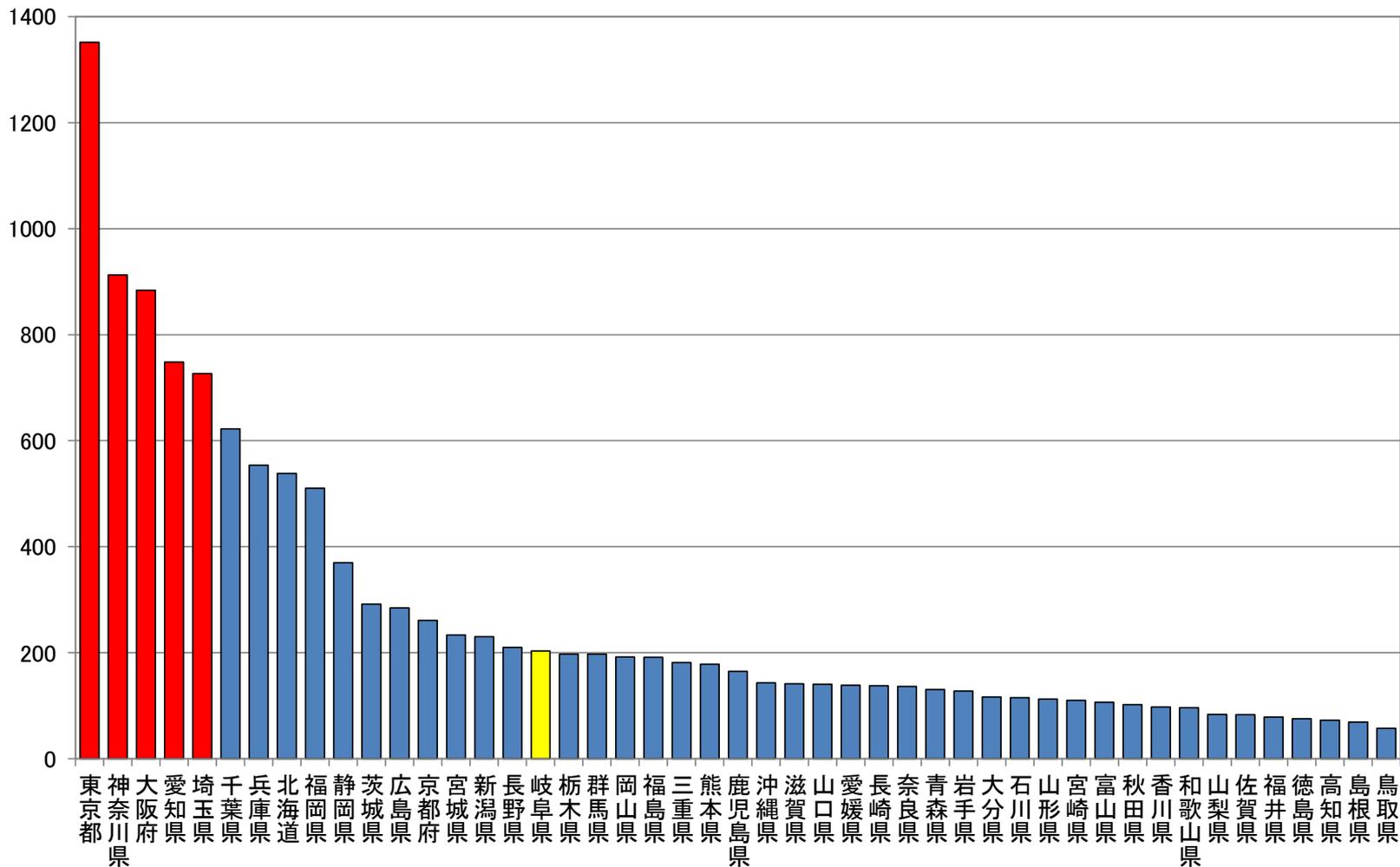
資料: 総務省「熱中症による救急搬送状況」(2015年)



人口

都道府県別の人口

(万人)



資料:総務省「国勢調査」(2015年)

岐阜県の熱中症
のリスクは、
低いと言って
いいのかな？





こんなデータを集めてみました

気温

- ・年間最高気温
- ・真夏日の日数

救急搬送

- ・現場までの時間
- ・病院までの時間

割合

- ・1万人あたりの搬送人数
- ・100km²あたりの搬送人数



データカードの具体例

北海道

最高気温(°C)

34.5

46位

真夏日(日)

11

47位

現場までの時間(分)

7.6

42位

病院までの時間(分)

37.5

23位

1万人あたりの
搬送人数(人)

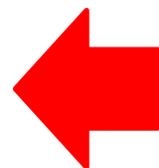
1.7

47位

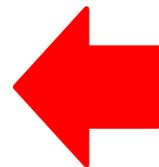
100km²あたりの
搬送人数(人)

1.1

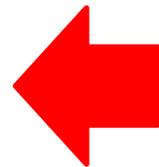
47位



気温のデータ



救急搬送のデータ

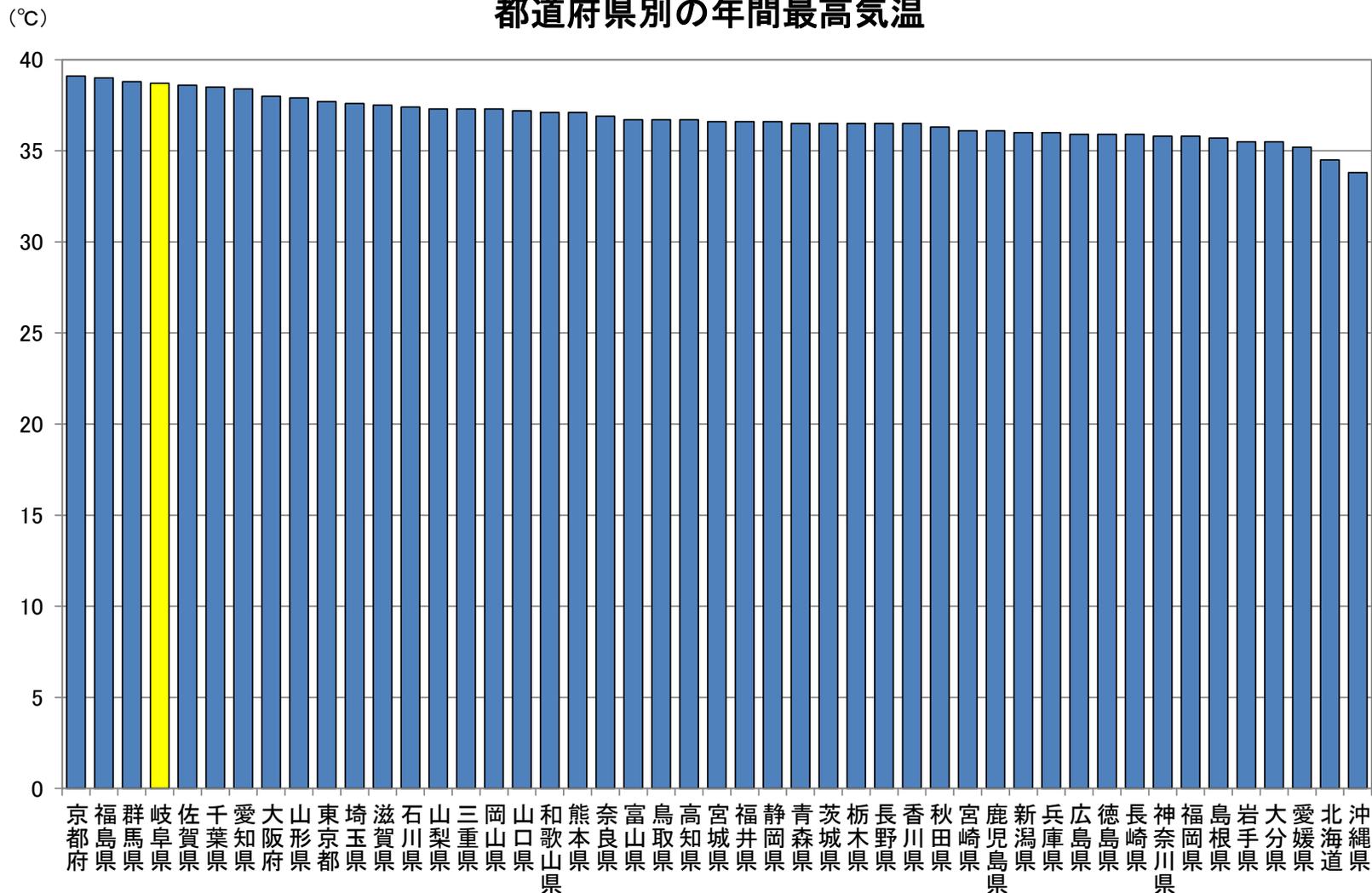


割合のデータ



年間最高気温

都道府県別の年間最高気温

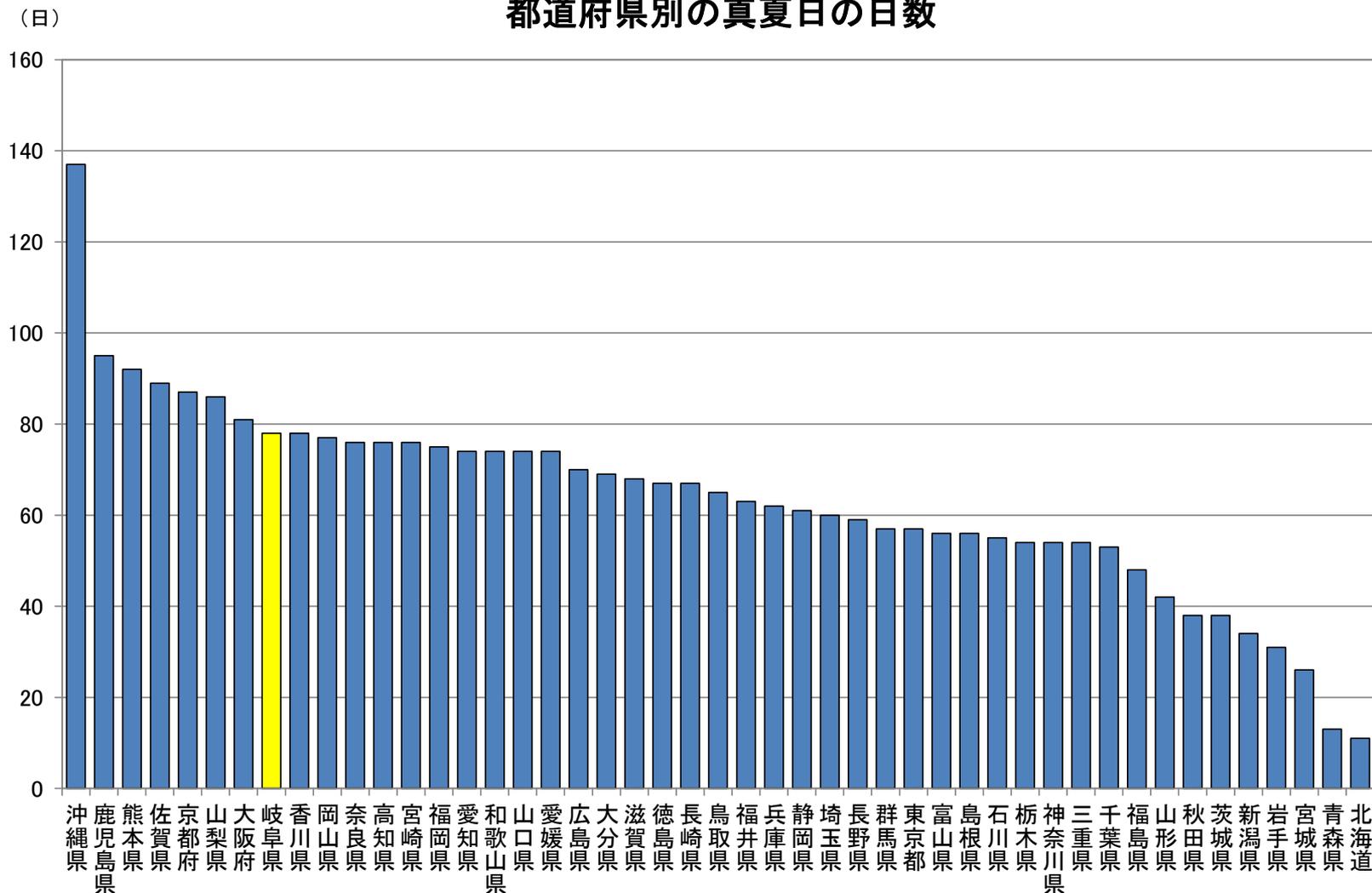


資料: 気象庁「過去の気象データ」(2015年) ※各都道府県庁所在地のデータ



真夏日の日数

都道府県別の真夏日の日数

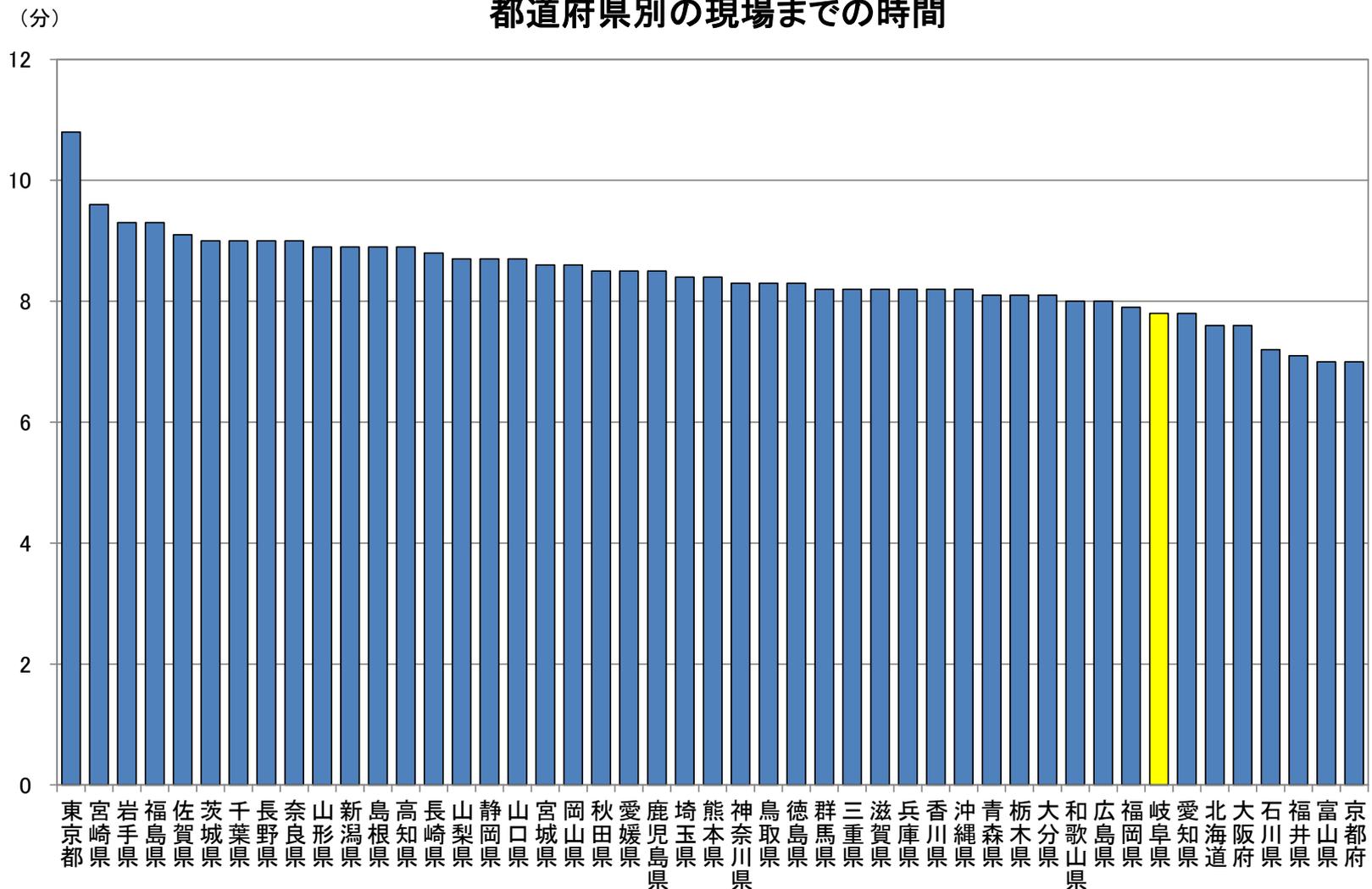


資料: 気象庁「過去の気象データ」(2015年) ※各都道府県庁所在地のデータ



現場までの時間

都道府県別の現場までの時間

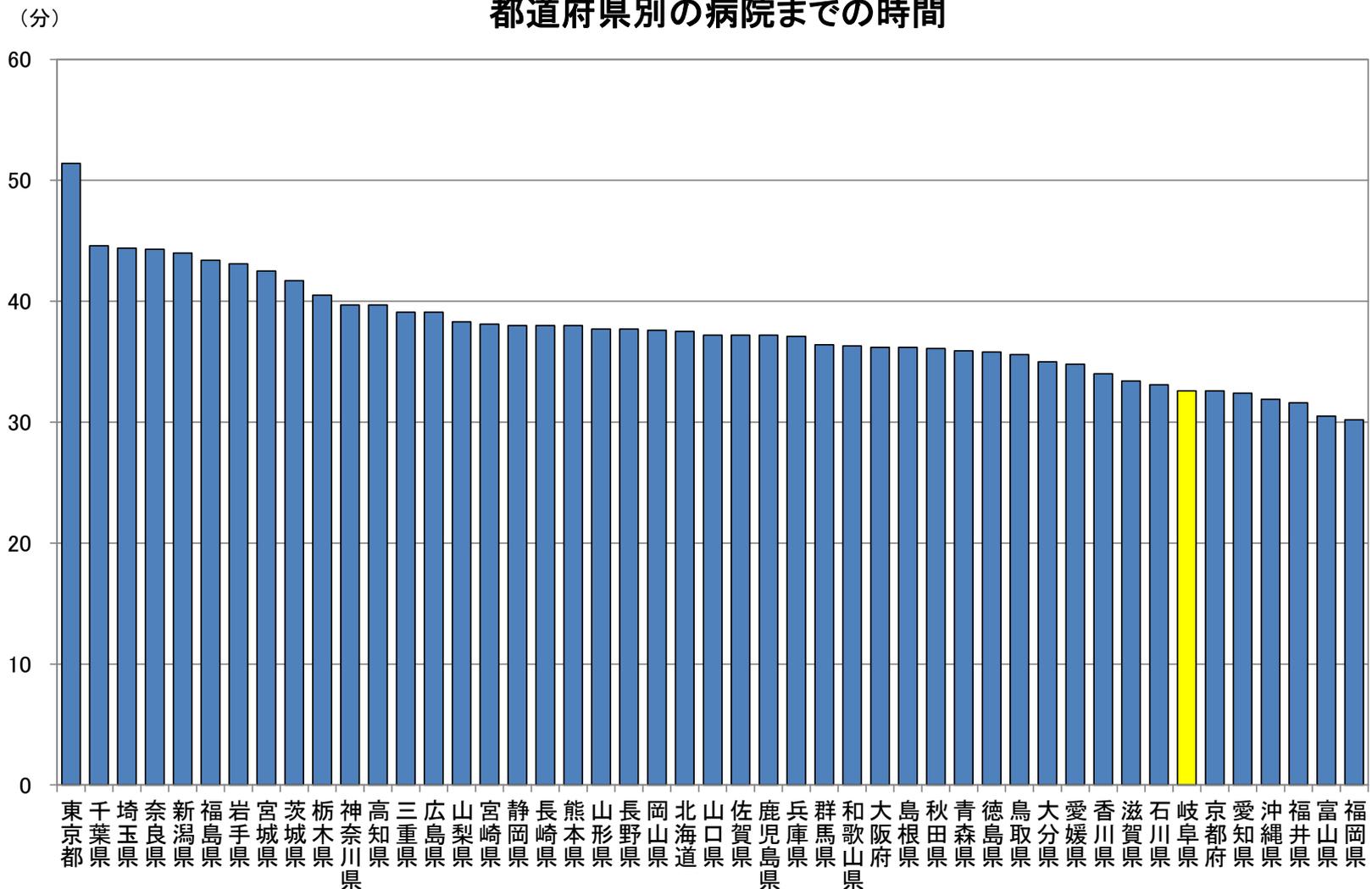


資料：総務省消防庁「救急救助の現況」(2015年)



病院までの時間

都道府県別の病院までの時間



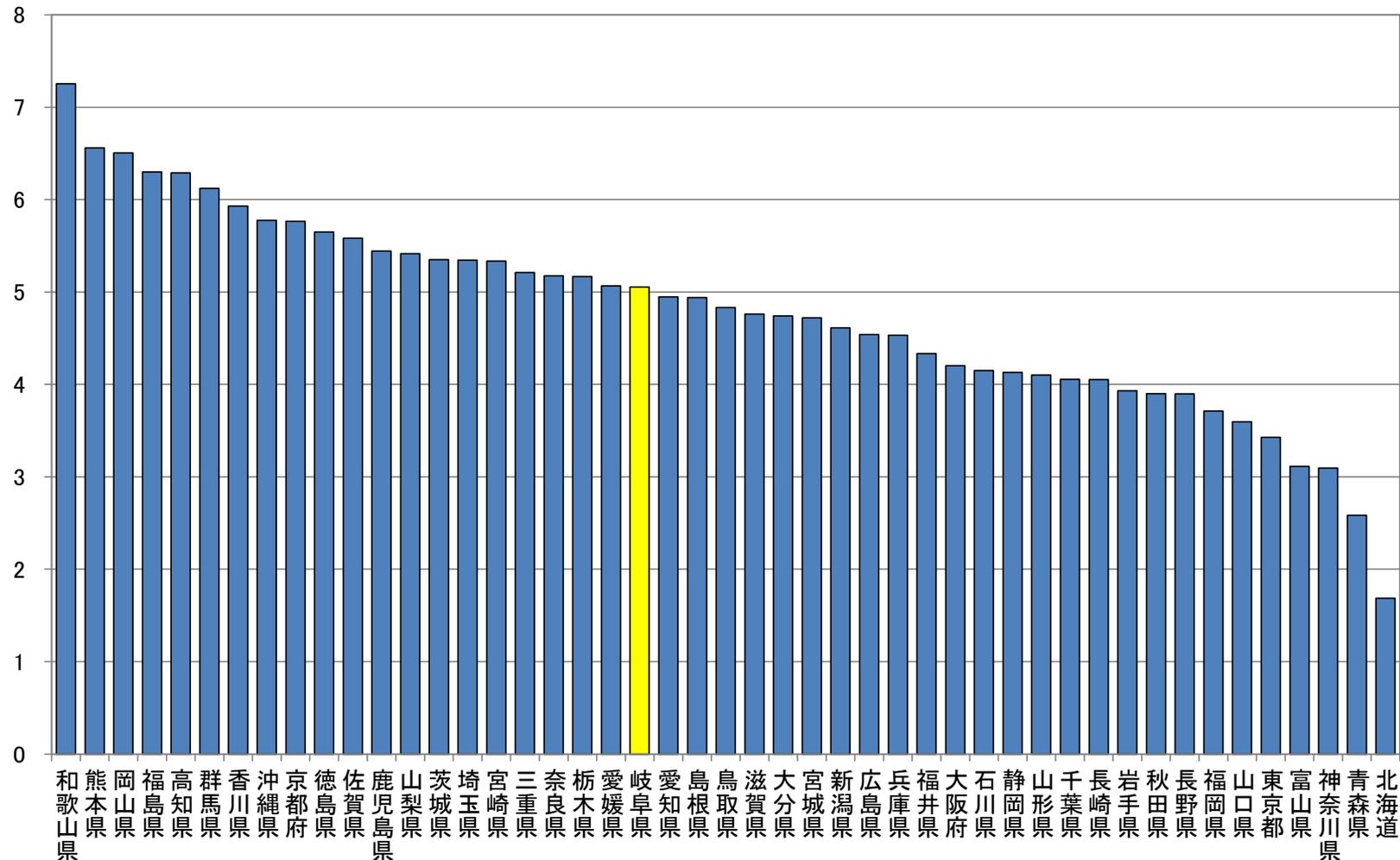
資料:総務省消防庁「救急救助の現況」(2015年)



1万人あたりの搬送人数

(人)

都道府県別の1万人あたりの搬送人数

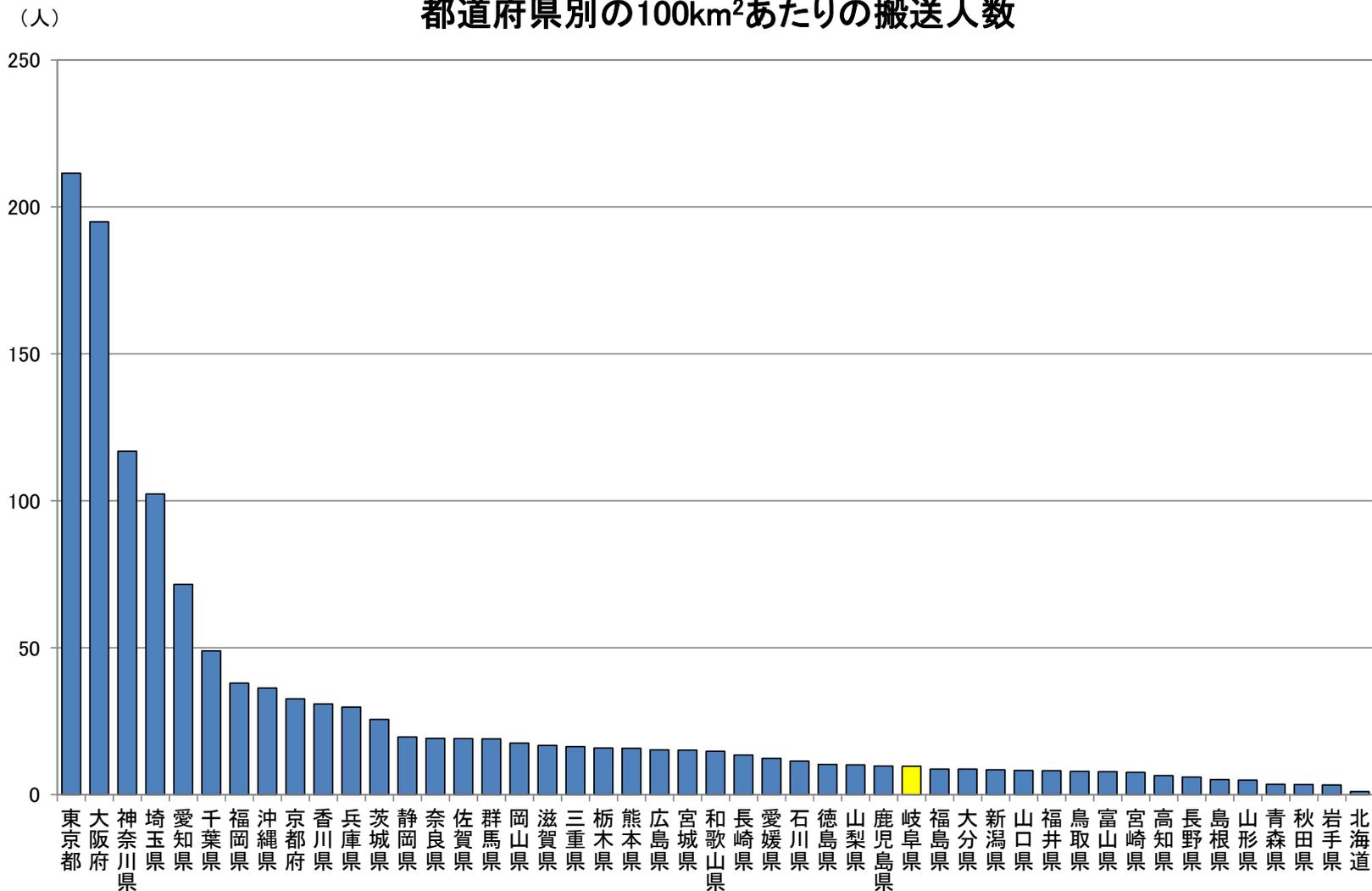


資料:総務省「熱中症による救急搬送状況」「国勢調査」(2015年)



100km²あたりの搬送人数

都道府県別の100km²あたりの搬送人数



資料:総務省「熱中症による救急搬送状況」・国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(2015年)

**1つのデータでは、
結論が出せないこともあります。
いろいろな角度から
考えていくことが
大切です。**



「これであなただもグラフの達人」(高校)

<ねらい>

データの収集方法から、表・グラフの作成といった統計的な探究プロセスを、インターネットやエクセルを使って体験し、適切な統計データの活用方法について理解する。

<主な流れ>

- ①統計データのいろいろな入手方法を理解する。
 - ・e-stat 、 岐阜県統計課のHP など
- ②エクセルを利用した表の加工方法を理解する。
 - ・ソート機能、 絶対参照 など
- ③エクセルを利用したグラフの作成方法を理解する。
 - ・基本的なグラフの作成方法、見やすくするための加工方法 など

「自治体協働型インターンシップ」(大学)

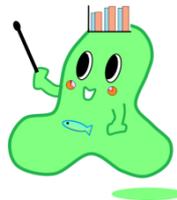
岐阜大学地域協学センターのプログラムを活用し、「自治体協働型インターンシップ」として実施。大学コンソーシアムのシステム(単位互換性)を活用し、県内のほぼ全ての大学の学生の受講も可能とした

<目的>

地域の課題解決に向けてリーダーシップを発揮できる人材の育成、及び統計調査の意義や仕組みを理解し、よき理解者・協力者として良好な調査実施環境の確保に寄与する人材を育成する。

<主な流れ>

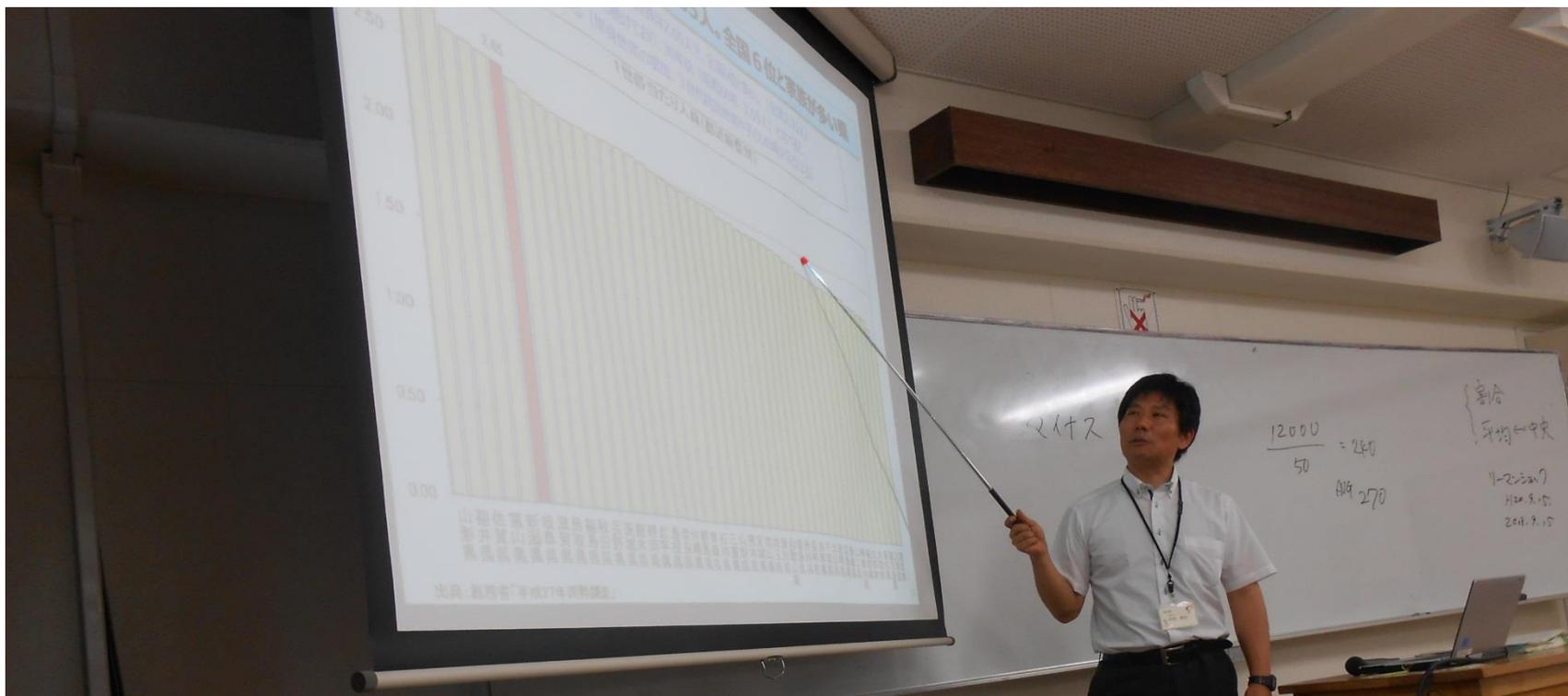
- ①公的統計の意義や重要性の理解 (1日目)
- ②ワークショップを通じた統計調査業務の理解・課題解決 (2日目)
- ③各種統計データの利活用を通じたスキルアップ (3・4日目)
- ④統計行政の職場体験 (5日目)
- ⑤データ分析結果発表・振り返り (5日目)



1日目（7月19日午後）

統計から見た岐阜県について

- 岐阜県の現状
- 公的統計データの必要性





1日目

統計の基礎、統計調査の現状と課題

- 統計の法制度、体系、種類、しくみ
- 統計調査員の職務と身分、
岐阜県の統計調査員候補者登録システム
- 統計調査の現状と課題

統計課 高橋課長



2日目（7月26日午後）



統計調査の課題解決のためのワークショップ°



ファシリテーター

岐阜大学地域科学部 三井栄教授

助言者

統計調査員4名

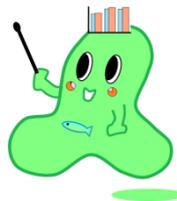
2日目（ワークショップの流れ）



- ・統計調査員からの話
（経験談、統計調査の現場で起こっていること 等）
- ・統計調査員へのインタビュー
- ・統計調査の課題
（統計調査員の高齢化、若年層人材の不足
統計調査環境の悪化などの現状 等）
- ・課題の対応策の検討



2日目



大学生が考えた解決策

- ・大学と統計調査員との交流
- ・ロゴマークの周知
- ・小中学校への統計教育の強化
- ・大学生、サークルなどの協働
- ・広報誌などへの掲載
- ・調査員同士のつながりの強化
など



3日目（8月30日）終日
4日目（8月31日）午後



各種統計データの利活用を通じたスキルアップ

統計課 清水係長



3日目・4日目

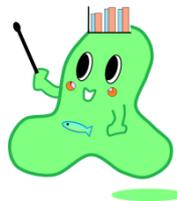


講義の流れ

- ・基本的なグラフの作成や読み取り
- ・エクセルを用いたデータ分析
- ・e-statからのデータ入手
- ・グループごとに市町村の特徴・課題などの分析



3日目・4日目



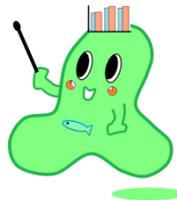
取り上げた市町村

- ・岐阜市(県庁所在地で人口が最も多い)
- ・可児市(30年間の人口増加率が37.7%と高い)
- ・飛騨市(30年間の人口増加率が▲28.7%と低い)

取り上げたデータ

- ・総人口と人口増加率の推移
- ・年齢3区分別人口と構成比の推移
- ・年齢5歳階級別人口の推移
- ・外国人人口と総人口に占める割合の推移
- ・国籍別外国人人口
- ・出生数、死亡数と自然動態の推移
- ・県内県外別転入転出差
- ・移動理由別転入転出差
- ・主な移動理由別、男女別、年齢別転入転出差

5日目（9月1日）



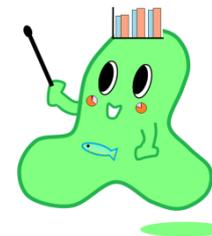
県幹部職員、統計課職員との意見交換会

データ分析結果発表・振り返り

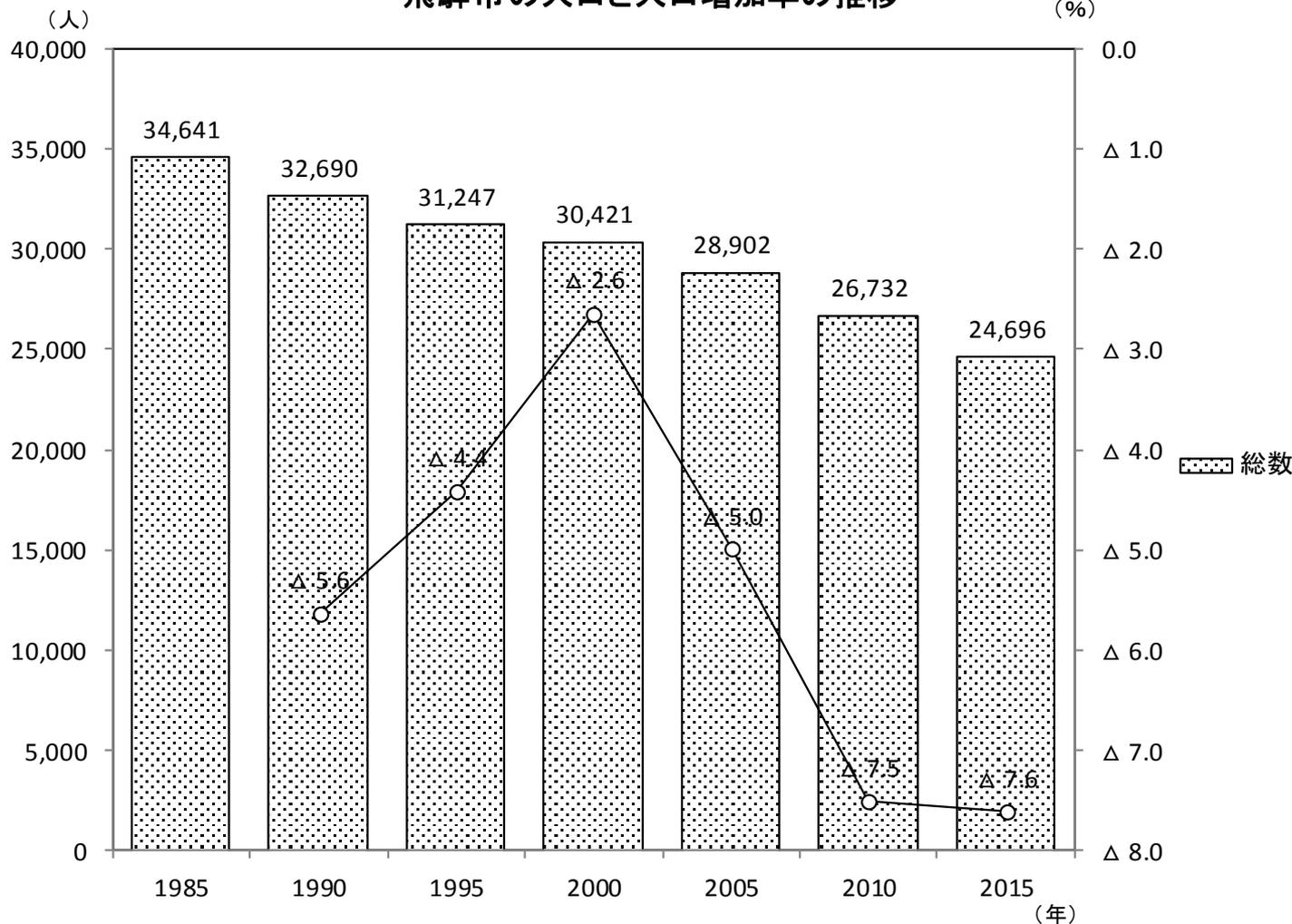
- ・グループ発表、担当職員からの講評
- ・振り返り



総人口は、減少が続いている



飛騨市の人口と人口増加率の推移

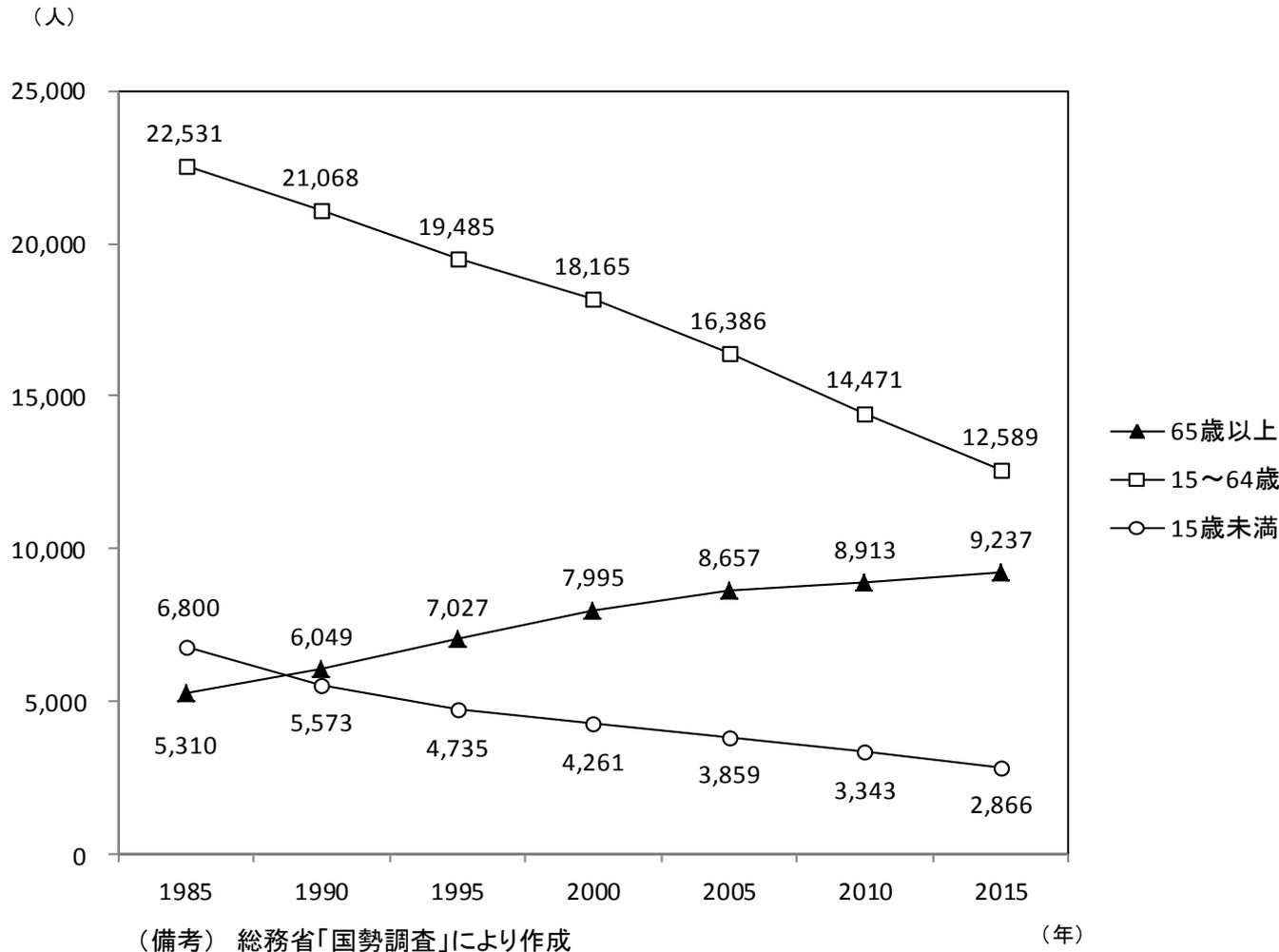


(備考) 総務省「国勢調査」により作成

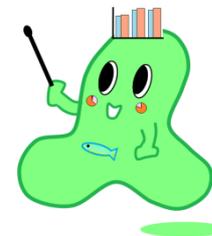
0～14歳、15～64歳は減少、65歳以上は増加している



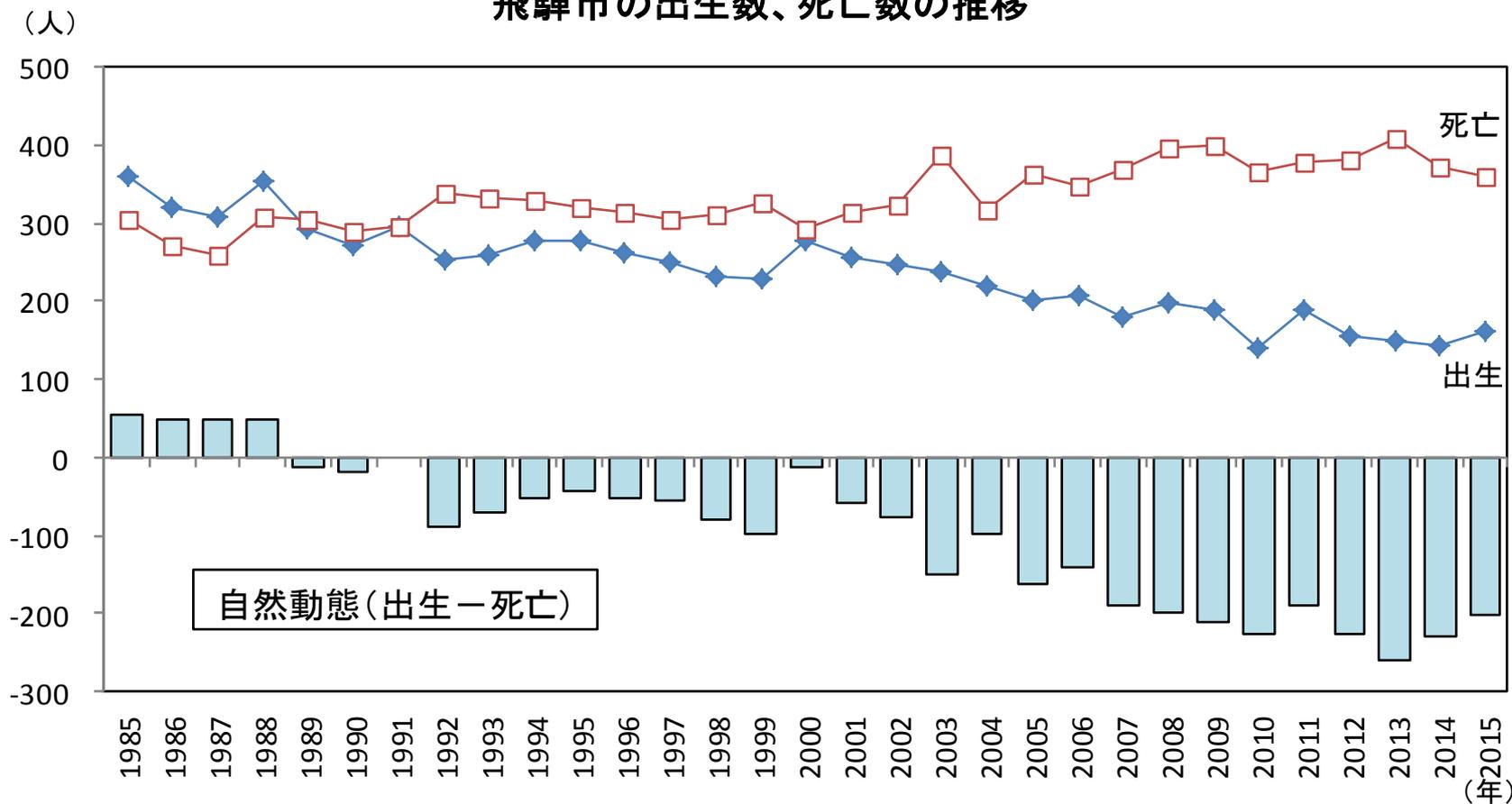
飛騨市の年齢3区分別人口の推移(総数)



死亡数が出生数を上回る状態が拡大

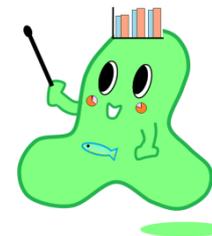


飛騨市の出生数、死亡数の推移

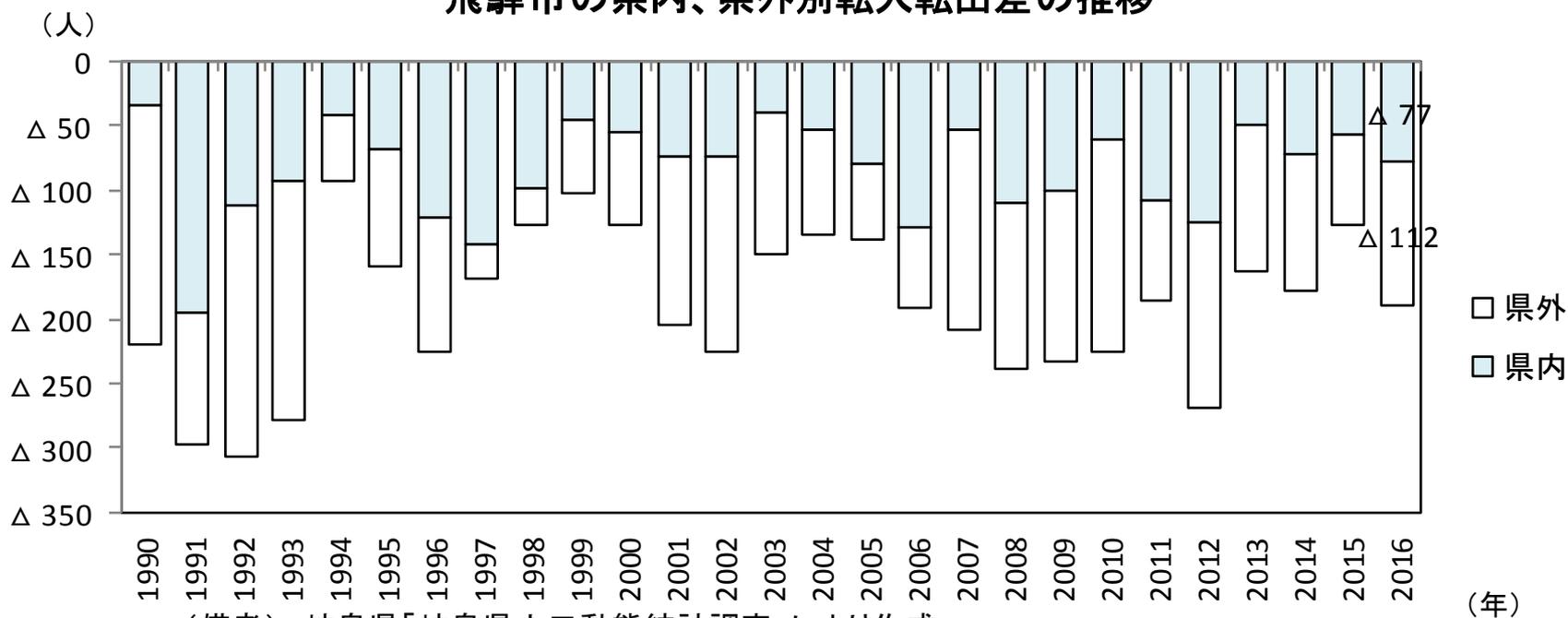


(備考) 厚生労働省「人口動態統計」により作成

県内、県外への転出超過が続いている



飛騨市の県内、県外別転入転出差の推移



(備考) 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」により作成

統計・統計調査にかかる普及・啓発事業の全体イメージ

趣旨

- 統計調査環境の悪化への対応として、特に若年層を対象とした積極的な啓発事業を実施。
- 学習指導要領に統計教育が盛り込まれたことを契機として、平成23年度より小・中・高校向けの出前授業（データ活用講座）を開始し、児童生徒が統計データに慣れ親しむ機会を創出。
- また、29年度からは、若年層に対し、更なる啓発を行うため、統計学習副読本を作成・配布するとともに、統計・統計調査にかかる大学生インターシップを実施。

取組の内容	出前授業 「データ活用講座」	統計学習副読本	統計・統計調査にかかる インターシップの実施	統計にかかる 生涯学習
小・中・高	<p>H23年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内の学校等に職員を派遣し「出前講座」を実施 ○ 『統計から見た岐阜県の現状』を解説するほか、身近な素材をグラフ化して分析する“体験型”授業。 <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象学年や学校の立地市町村の特徴等を勘案し、教材を適宜アレンジして活用。 ・ データの活用のほか、県や地域の特徴を学ぶ内容であり、総合学習の一環として活用されるケースが多い。 	<p>H29年度（新）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校高学年向けの副読本を作成し、県内の全小学4年生及び教員等に配布。 <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データやグラフの利活用の学習が可能であるほか、県や市町村の各種データ集としての機能もあり、算数・社会科のほか、ふるさと学習に活用される。 ・ 統計にこじみのない教員であっても、本書により比較的容易に統計教育を行うことが可能。 		
大 学			<p>H29年度（新）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 統計・統計調査の意義や仕組み等を理解し、統計調査の協力者となる人材を育成 <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統計法規等の学習のほか、現役の統計調査員との意見交換を踏まえたグループワーク、実践を見据えた公的データ活用・分析の演習を実施。 	
一 般	<p>【実績】（H30.2末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合計 96 校 小学校 43校、中学校 40校 高校 5校、大学 8校 ※ 延べ約 6,200 名 			<p>H30年度～（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内市町村で実施される生涯学習講座の一環として、データ活用講座を実施。 <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統計調査への協力・呼びかけ、統計調査業務の紹介

新しい取り組みに対して大きな反響有

・統計学習副読本の作成

- 96.6%の公立小学校で「使う予定」とアンケートで回答
- 「データ活用講座」での利用や現場での活用報告有

・データ活用講座の実施

- 新規作成教材に対する生徒の好反応
- 高等学校からの問い合わせの増加

・自治体協働型インターンシップ

- 調査に無関心・非協力的な若年層が統計に対する考えを深めることに大きく寄与
- 学生人材の育成、学生調査員の任用、大学連携の先進事例として総務省統計局より全国に紹介